

設にも入りたくない。少ないサポートで自立した生活をおくり、元気なままで人生をまっとうしたい」との高齢者の思いをお聞きした。だからこそ市の介護予防のための筋力トレーニングに通っている方もいらっしゃる。現在、3～4か月を区切りとして行われているが、「続けることで筋力の衰えを防ぐことになるので、継続して通いたい」との声がある。

福祉保健部長) この事業の目的は、介護予防の習慣を身につける普及啓発や動機づけにある。卒業後は、地域で行われている体操といったさまざまな活動に参加していただきたいと考えている。

星) 7月いっぱい第I期のみなさんは終了。地域活動へのきめ細かな案内をお願いしたい。

政策決定は客観的に、 透明性と公平性を担保



国分寺政策市民フォーラム 及川 妙子

1. 西国分寺駅北口周辺地区について

(1)基礎調査範囲が、東が府中街道、西が国3・2・8、北が国3・4・6だが、府中街道の東側は北口周辺地区に入るのではないかとまちづくりを進めていくエリアを推進地区として指定していく。検討の中で整理していきたい。

(2)JRとはどういう関係になっているか？→現在は協議していないが、今後協議していく。

2. 待機児童について (102名)

(1)既存園の定員弾力化と分園方式で定員はどの位増やせる見込みか？また500名増員計画はどの位達成されたか？→数字ではなかなか出せないが1園1人ずつ拡充していけば60名以上増える。500名計画は401名まで行っている。(2)国の待機児童解消の緊急対策である小規模保育所をつくらないのはなぜか？デメリットはあるがメリットもある。客観的に分析しているのか？→子ども子育て会議で意見を聞いてみたい。

3. 本多学童保育所の臨時職員への有給休暇付与問題について

(1)対応結果は？→25年度までさかのぼり全てのデータを精査し改めて付与し、全員に書面で確認した。(2)今後こういうことがおきかないために何をしたら？→5月1日から臨時職員に渡す任用通知に勤務予定日数を記載することを所属長に通知した。(3)ほかの部署でこのようなことがなかったか調べたか？→確認する。

4. 障がい者サービスと介護保険について

(1)国分寺市は他市に比べて介護保険優先が厳しいという意見があるがどうか？→厚生労働省の通知書を踏まえつつ、利用者の生活状況や利用意向等を十分に聞いてしっかり支援方針を決定している。(2)市が把握している問題点と対応は？→障がい者支援員と介護のケアマネがそれぞれのサービス内容などについて理解が不十分なので連携を深めていきたい。(3)現場ではヘルパーさんがかかわると障がいと介護の併給のルールが明確でないなどの問題点が指摘されている。決定プロセスの透明化と公平性担保を。

5. 府中街道での自転車事故に関連して道路問題について

(1)恋ヶ窪駅の踏切間の歩道が狭いのはなぜか？→西武鉄道と東京都に拡幅の要請をする。(2)国3・4・6号線の道路照明灯が北側だけについていて南側の歩道が暗い。→対応する。

課題克服へ総力を 財政、待機児童、ぶんバス



公明党 木島 たかし

【今後の財政運営について】

問) 今年度はこの10年間の市政運営の基本方針である第四次長期総合計画の最終年度。その根幹である財政計画をどう総括しているのか。

答) おおむね目標を達成しつつある。ゼロベースからの部局積み上げ予算や臨時財政対策債などの地方債の発行を抑制してきた結果だ。

問) 行政改革に「一段落」はない。万全の防災対策等、安全で安心のまちづくりを進めるためには、今後も行政自らの改革が不可欠だ。

答) 少子高齢化社会への対応や、質の高い行政サービスのためにさらに行政改革に取り組む。

問) 市民への説明責任や公共施設等総合管理計画を今後推進するため、公会計の改革を進め「財政の見える化」を。

答) 複式簿記の導入を前提とした新たな財務書類を平成29年の秋頃の完成を目指して進める。

【待機児童解消への取り組みについて】

問) 待機されている方により親身に寄り添うため、窓口だけの受身的な姿勢から能動的に動くことができる保育コンシェルジュの設置を。

答) 情報等をわかりやすく発信し、さらに寄り添った支援を講じるため、配置を検討したい。

問) 保育士の負担の軽減のために、各保育施設のICT化の推進が必要だ。積極的に対応を。

答) 様々なメリットがあるので検討したい。

問) 市内のJR中央線南側に待機児童が多い実態を踏まえ、民間保育園の誘致に際し十分考慮を。

答) 認識をしている。誘致に向け努力したい。

【ぶんバス12月新規ルート開設に全力を】

問) 史跡周辺地域から東恋ヶ窪周辺を結ぶルートとして12月運行に向けて進められるが、運行の時間帯は可能な限り長くするべき。

答) 現在朝7時台から夜8時台で検討している。

問) バス停の設置箇所は？

答) 最終的には交通管理者と運行事業者との協議で決定するが、市としては、西元町三丁目、府中街道の黒鐘公園入口、いずみプラザ周辺、西国分寺駅東の交通広場、武蔵国分寺公園周辺国分寺駅南口の本町南町地域センター付近、東恋ヶ窪三丁目を基本としていきたい。

他に、①「かかりつけ」医等の普及を積極的に推進するために、さらなる意識啓発の取り組みなどを求めました。②旧西東京警察病院跡地の今後の方向性について質問しました。

生活困窮者支援に 家計相談、就労支援を



国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる

◆介護予防・日常生活支援総合事業について

(問) 要支援の方を対象とした訪問介護、通所介護は、多様な担い手による新たな事業へと大きく転換する。緩和した基準による訪問型サービスでは、資格がなくても研修を受講した方がサービスの担い手となるが、利用者の安全性の確保と安心して働ける環境整備は欠かせない。研修では、新総合事業の趣旨や認知症への理解など基本的な内容に加え「自立支援の観点から

の家事援助の方法」をプログラムに入れることを提案(答) 高齢者の能力や機能を維持向上する「自立支援」の視点は一番大事。研修体系や必要なスキルの習得方法などを協議体で検討し、安定的な運営を維持できる体制をめざす。

◆生活困窮者自立支援について、家計改善に向けて、任意事業である家計相談支援の実施を！

(答) 相談支援の過程で家計状況の把握に努めているが、専門的な資格を持ち特化した方がいい場合もある。状況を把握し判断していく(問)

就労支援について、すぐに一般就労につながる方ばかりではない。対象者の状態に応じた就労体験の場が必要だ(答) 必要だが、なかなか見つからない(問) 関係機関が参加する「就労支援地域連絡会」に現状を発信し連携を！(答)

連携していく(問) 食の支援について、まだ食べられるのに様々な理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている人や施設に届ける「フードバンク」の取り組みを環境と福祉が連携して進めることを求めてきたがどうか？(答)

委託先の社協が都内のフードバンクを活用し19件の食料支援を実施した(問) 生活困窮者を支援する団体等とも連携し、食の提供を必要とする人に食品が届くしくみづくりを求める。

◆動物と共生するまちづくりについて

(問) 動物に関する苦情で最も多いのが「犬」。飼主と離れてもほえない、他人や他の犬を怖がらない等、普段からのしつけと飼主のマナーが重要。しつけやマナー教室を市民活動団体と開催することを提案(答) 多摩地域18市で犬の飼育教室が開催されている。研究したい。

◆循環型都市農業のしくみづくりについて、生ごみたい肥化事業に団体登録するには、専用回収容器の設置が必要となるが、誰もが参加しやすい方法の研究を求めた。また、国分寺産野菜の価値を積極的にアピールすることを要望した。

市民と共に国分寺市の 魅力の発信を！



自民党国分寺市議団 田中 政義

1. 熊本地震に対する国分寺市の支援と今後の震災対応について

問) 今回の地震では避難所に収容し切れず、建物の外であるとか車中泊された被災者が多数いたということで、そうなれば雨露をしのぐテン

次ページに続く▶

閉会中の委員会等

委員会はどこでも傍聴できます

平成28年第2回定例会終了後、第3回定例会までの委員会等は下記のとおりです。

7月15日(金) 議会運営委員会

7月25日(月) 国分寺駅周辺整備特別委員会

7月26日(火) 総務委員会

8月1日(月) 厚生委員会

8月4日(木) 文教子ども委員会※

8月8日(月) 建設環境委員会

8月30日(火) 代表者会議、議会運営委員会

市役所第1庁舎3階委員会室で午前9時30分から開催します。

※8月4日の文教子ども委員会は午後1時30分から開催します。

*詳しくは、市議会ホームページをご参照ください。